

2016我が家のラグビーウィーク

1. 京都(6月15日)

昨年、W杯史上最高の番狂わせに立ち会った私たち、あの感動が忘れられなくて、より高いレベルのテストマッチを観戦しようと今年も旅に出ることにしました。時は6月、世界のラグビーが動くこの時期に、世界のお代官様が動き出します。



題して「我が家のラグビーウィーク」

スタートは、京都・・・スクールウォーズで、泣き虫先生に鍛えられた生徒さんが、切り盛りするチャイニーズレストラン、ラグビーの殿堂・清華園から。餃子にチャーシュー、トンカツに中華おこげ。アツアツ揚げたてご飯のおこげに、八宝菜みたいな中華あんをかけてジュー、美味しくいただいてシアワセ～！・・・じゃなくて、これからのラグビーウィークに願いをかけます。

皆さんもご一緒に、カマツカマツテ、カオラ、カオラ！



2. 愛知県豊田(6月18日)

W杯、ブライトンで南アフリカに勝利して全世界を驚かしたジャパン。そのままの勢いで世界制覇をなんて夢を打ち砕いたのがスコットランド。冷静沈着な男前、レイドロー・キャプテンが率いますが、派手さは無いけど、相手を研究し尽くして確実に止めて、堅実に繋ぐというラグビーに圧倒されたグロスター。

リベンジの場は、豊田スタジアム。今年は、スコットランド代表が、日本で2つテストマッチに応じてくれます。相手以上に確実に止めて、レイドローに仕事をさせなきゃ、ホームという地の利を生かしてアウエーを一蹴なんて展開が見られるかも。

まずは、味噌カツ食べて、駅前からスタジアムへ行進。あの、南アフリカ戦を熱く応援してくれたサリさんも「Come on, Japan!」とサポートしてくれるはず。矢作川を渡れば、周辺はW杯仕様のスペースで盛り上がっています。



入場、両国国歌斉唱からキックオフ。ジャパンのキャプテンは堀江、スコットランドはロックにグレイ兄弟が並びます。前半は、ハンドリングエラーやラインアウトミス、低いハイパンも効果なく、スクラムも合わせ切れない上に、レフリーと気が合わず2枚のイエローカードとエエトコなしでありながらも、10対16と善戦。

後半は、修正してリベンジだ、ファイトオ～イッペア～ツ・・・なんて思ったのも束の間、スコットランド

のウィルム・ネルのトライ。最終スコアこそ13対26も、同じミスを繰り返し、ロックは目立たず、フォワード3列機能せず。誰かが言っていましたが、フォワードの要には、日本人はいらない。確かに、リーチ、トモ、ブロードファーストも出てないし、密集での集中力も淡泊で、ハイパン蹴っても突撃しない。そりゃ勝てませんわ。



まあ、翌週は味の素スタジアムで、天皇陛下ご観戦のもと、再戦しますから、今日の問題点を修正して、リベンジを実現して欲しいと思っています。(ちなみに、16対21で敗戦)

やっぱ、ホームユニオンは強いですね。チームはイマイチでしたが、会場は国際試合が行われる緊張感と盛り上がりがありが最高でした。

こちらからは、エールを捧げます。スコ〜ットランド、スコ〜〜ットランド！

3. シドニー(6月25日)

今年のメインイベントは、シドニーで開催されるワラビーズ対イングランドの試合に合わせて行くオーストラリア旅行です。W杯開催国でありながら、ベスト8に残れなかった不名誉な記録を残したイングランド。改革する新しいヘッドコーチは、ジャパンの大躍進の立役者のエディー・ジョーンズさん。

ヨーロッパの6ネーションズを制し、負け知らずで、テストマッチ3つを組んで、オーストラリア遠征に。ブリスベン、メルボルンと2連勝、シドニーでの第3戦、連勝記録を伸ばすか、ワラビーズが一矢報いるか。エディー・イングランドの仕上がりに注目です。

参考まで、エディーさんは、元々オーストラリア出身、今回マスコミの取材に、国歌斉唱ではオーストラリア国歌「アドバンス・オーストラリア・フェア」は歌わない・・・なんて答えたから、国民からバッシング。



日本人の私は、レベルの高い試合を観戦するのが目的ですから、両国国歌を歌います。一応、今回はホームということで、ワラビーズ応援に徹します。

まあ、いわゆるホームユニオン、特にイングランドやウエールズの試合を観戦するのが一つのステータスだと思っていますから、楽しみで仕方ありません。

練習風景も、フーパー、フォラウ、スケルトン、フォーリーとシドニー本拠のワラタス勢が目立ちます。イングランド側は、W杯からエディーさんが入れ替えたので、ファレルとロブショウぐらいしかわかりませんが、フォワード陣が充実しているように見えるのは、先入観かも。



試合は、一進一退。前半を終えて、ワラビーズ18対17で折り返す。逆転また逆転で、フォラウのトライで勢いを付けるも、結果は40対44で、イングランドの勝利。ウキウキドキドキの展開で、イングランドのオーストラリア遠征は3連勝で大団円。

一緒に試合を楽しんだheroさんも大喜び。試合を終えた選手にエールを送ります。特に、かつての日本代表・ポポイさんの親戚筋のタタフとは面識があるから、熱く激励。帰り道も、国際交流でイングランドの勝利を称えます。

スイングロー、スイートチャーリオット、カミホトウキャリミホーム！

4. 東京・秩父宮(7月2日)

スーパーラグビー、今年から日本とアルゼンチンのチームが加入・・・そりゃ、ラグビーファンとして観戦しなきゃなりませんよね。10年以上前、初めて観戦したスーパーラグビーは、ワラタス対ハイランダーズ。初めてオーグスタジアムへ行った記念すべき一戦で、マシュー・パークが最後のPGを外してワラタス敗戦という壮絶な展開で、これがきっかけで、ラグビー観戦+αという我が家の海外旅行の形が定着しました。ニュージーランドのチームも好きですが、やっぱりシドニー本拠で、ワラビーズの主戦力が集まるワラタスを応援し続けています。



そんな、ワラタスが、サンウルブズと対戦。前週、シドニーで応援した面々が秩父宮に揃うのも嬉しくて、タタフやフーパー、フォラウなどの一挙手一投足を見守ります。日本人として、サンウルブズを応援しますが、敬意を表しブルーのワラタスのジャージを着てスタンドに座ります。





大会前セレモニーでは、阿波踊り・高円寺ひょっとこ連が、バックスタンド両サイドから、男踊りと女踊りで登場。タッチライン上をゲイン、ハーフウェイラインで合流して、メインの入場口まで「えらいやっちゃん、ヨイヨイヨイヨ〜！」・・・四国観光達人として誇らしく思って、パジャマ代わりに持ってきた「すだちくんTシャツ」で飛び出したくなりましたが、今日は狼の遠吠え「パオ〜！」でサポートすべきと反省。会場周辺も、遠吠えコンテスト、選手の人気投票、泡プールなどイベントも豊富でスーパーラグビー開催を祝福しています。

さてさて、キックオフ。ワラタスが勝つか、サンウルブズが負けるか・・・なんて、予想通りで決着。フォーリーのキックはキレイ、フォラウのステップ、フーパーの突進は光るし、タタフも元気。スケルトンの突進だけは止めていましたが、サンウルブズは手も足も出ず、ノートライの12対57で敗戦です。まあ、FB・フィルヨーンのハーフウェイより後方からの飛距離60m級のPGIにはしびれましたが、堀江や畠山、リーチマイケル、田中ふみ、五郎丸あたりの心の支えとなる選手が居ないと元気がありませんね。



まあ、猛暑の秩父宮で大変でしたが、ワラタスの強さだけが目立った一戦でした。次回期待、これからはサンウルブズ、日本代表と応援を続けますので、あの南アフリカ戦のようにスタンドを熱くして下さい。カモ〜ン！ジャパ〜ン！

5. 京都(7月6日)

我が家のラグビーウィークは、これにて終了。道中の無事と、楽しい毎日が過ごせたことの御礼を兼ねて、清華園を訪問。餃子にチャーシュー、エビ玉に中華おこげ。アツアツ揚げたてご飯のおこげに、中華あんをかけてジュウ、美味しくいただいてシアワセ〜！・・・じゃなくて、お世話になりました。

「次の旅行はどちらに？」と聞かれて、『朽木村！』・・・はい、8月の清華園主催の合宿に参加することにしました。今まで、ラグビーボールに触れたことのない私たちが、楽しい檣縁の仲間入り。ホント、初心者以下ですから、お手柔らかに。

それでは、ウパネ、カパネ、フィティツテラ〜！フィ〜！



2016年7月6日記

[Top](#)
[トップ](#)
[↑](#)

[Back](#)
[戻る](#)